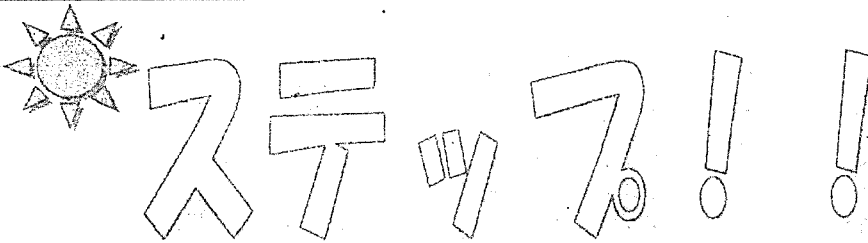


2021年(令和3年)  
12月23日(木)



**2年の3学期は、3年の0学期！です。どんな3年生をめざしますか？  
そうなるには、3学期どんな活動が必要ですか？  
レベルアップのための準備をしましょう！**

2学期も、いろいろな事がありました。学年としては、レベルアップできましたが、個々ではどうでしょうか？みんなやクラスのために動けましたか？自分が成長したという実感はありますか？自分をふり返り、3学期に向けて何をしておけばいいか考えて、実行しましょう！

「5つの校風の実行！」 ①時間を守る ②自ら挨拶をする ③言葉を大切にすること  
④環境を整える ⑤ボランティア活動

「成長できる集団！」 ①日々の取り組み(授業・学活・そうじ・係活動など) ②行事  
③リーダーとしての活動 ④公共の場での行動を考える

以上のようなポイントでチェックし、自分は何ができていて、何ができていないかを考えましょう。  
『冬休みにしてほしいこと！』

- 1つ目、年末年始ですから、家族との時間を大切にしてください。
- 2つ目、今までできていなかった学習面をしっかりと補充する努力をしておきましょう。
- 3つ目、感染症対策・健康管理と体力づくり・生活リズムを崩さないようにしましょう。

授業中、居眠りをしたり、体調を崩して保健室を利用した人に話を聞くと夜遅い時間までスマホをついたり、ゲームをしているのがあたりまえになっている人がいます。来年のこの時期は、もう受験に突入しています。よくない習慣は一度には変わりません。今年の冬しっかり自己管理をして、よい習慣を身につけましょう。

**< 3学期の連絡 > 1月7日(金) 始業式 < 持参物 >**

	1	2	3	4	5
21R	始 業 式	英語	理科	国語	進路説明会
22R		国語	英語	理科	14:30開始
23R		数学	音楽	社会	男子2年教室
24R		理科	美術	技術	女子3年教室

検温・行動記録 冬の生活記録 マスク シューズ  
ぞうきん ランチョンマット エプロン(1・4班)  
冬休みの課題1月7日(金)提出のもの  
授業のある教科に必要なもの  
\*「進路説明会」参加の保護者の方の検温カードは  
2年昇降口の受付で提出ください。

## 『道徳の実行』って？

「道徳の実行」とは、いったいなんでしょうか。改めて考えてみると、例えば次のようなことが挙げられるでしょう。「ルールやマナーを守ること」「礼儀正しくすること」「困っている人の手助けをすること」「世間の迷惑になることはしないこと」「約束を守ること」・・・。人それぞれに、少しずつ違った意見を持っているかもしれませんが。それでもおおよそのところ、何かしらの「よいこと」をすることだろうというイメージは一致するのではないのでしょうか。一般的に私たちは、具体的な行為として「形」に表すことを「道徳の実行」と捉えているのかもしれませんが。しかし、ここで注目してみたいのが、行為の「形」だけでなく、それを行う時の「心のあり方」です。心は、目で見ることにはできませんが、私たちは何をするときも、必ず自分の心を働かせています。そこには、道徳の実行について考える上での手がかりが潜んでいます。

「見えないもの」を意識して。いくら人前で美しい言葉づかいや洗練された所作、よい行いをしたとしても心の中が相手を見下す思いや、やったやった感いっぱいだったらどうでしょう。その人の人間力は高まらず、相手や周囲を笑顔にし続けることはできないと思います。「陽徳」。目に見える形で誰かに認識される行動です。表情、目線、話し方、聴き方、身だしなみ・・・。どれも相手を喜ばせる、心地よくさせるためには欠かせないものです。しかし、ともすると「目に見える形だけ整えていけば、何とかなる」ともなりがちです。陽の当たる部分だけ伸ばしておけばいい、陰の部分なんて見なくていい。そういう認識は違うのではないのでしょうか。形として目に見える「よい行い」はもちろん大切です。では、それを行う時の「自分の心の中」はどうなのか。また、その行為の結果、相手に喜ばれなかったとしたら、自分は心で何を思うか・・・。誰しも「目に見えるもの」は大切に思えても、「目に見えないもの」に対しては意識が薄れがちではないのでしょうか。木に例えると根は土の中に隠れつつ、養分や水分を枝葉に送り続けます。どちらも大切なものですが、根が枯れたら、枝葉もまたかれてしまうでしょう。人間の心も同様です。心の力は目に見えないからこそ意識して養っていく必要があるのではないのでしょうか。私たちは、特別に大きな出来事が無い限り、なかなか自分自身を省みることはありません。日常にある小さな行いほど見過ごしてしまいがちです。小さなゴミを落とすとしてもそのままにしたり、ちょっとした約束が守れなかったり・・・。また、落ちているゴミを拾ったり、人の手助けをしたりといった「よいこと」と分かっているにもかかわらず実行しできない場合もあるかもしれません。その気にさえなれば、いつでもどこでも日常の小さな行いはすることができ、その行いの裏側にある心の働きに意識を向け「感謝」や「思いやり」などの温かい心を表していったら、その積み重ねの結果、「心のあり方」が変わってきます。自分の心を謙虚に見直す習慣は、自分を確実に成長させ、そうした心の姿勢は周囲にも伝わり人間関係も心豊かになっていく事でしょう。